

地域のつながりを大切に

「町民の誰もが住みなれた地域や家庭で安心した生活ができるように」と毎年開催される地域ネットワーク会議が、今年は11月11日町民センターで開催されました。北海道医療大学看護福祉学部看護学科井出 訓教授の「いま自分が認知症になったとしたら」の基調講演とグループワークが行われ、いま聞いたことが自分達の地域ではどんな問題や課題であるかを話し合い、120名の参加者は自然に「自治会・町内会・近隣住民等との援護ネットワークづくりの目的」を実践していました。

正しくは文化交流ですが

ある日の日本語でのスピーチで「文化交流」を「ブンカキョウリユウ」と言い続けたロブ先生。その間違いをタイトルにしたユニークなお話集会が11月11日追分公民館で開かれました。

日本での最初の赴任先となった追分に言葉も習慣もまったくわからないままやってきたのは平成3年のこと。そのときの勘違いでのエピソードの数々を、テンポの良い？日本語で語ってくれました。現在、日本国籍を取得して苫小牧の大学で活躍しているロブ先生。日本デビューの追分は「楽しい思い出がいっぱいの街」のようでした。

楽しいイベントいっぱい

11月13日ぬくもりの湯感謝祭が開催されました。

農産物の販売や軽食の限定メニュー、地元サークルの民謡や太鼓、そしてじゃんけん大会など「お風呂・秋の味覚・芸術を」一度に楽しめるイベントとなりました。ぬくもりの湯では12月はクリスマス、1月はお正月の装いと企画でみなさんをお迎えます。

菜の花のめぐみ 第2章

11月24日 北のなのはな会（小西克典会長）が町長を訪れ、8月に発売された「畑のスイーツ」に次ぐ安平産菜の花原料の「畑のしずく」（なたね油）の販売開始を報告しました。

精製された油には臭いや味に癖は無く、成分は普通の油とは比較にならないほど高く良質なもので、食の安全にこだわった逸品です。小西会長は「値段は若干高く感じると思いますが高すぎないように原価ぎりぎりの価格です」との苦労面はあるようですが、13トンの原料からできた8千本（450ml）は町内では町内還元価格で販売し、町外でも順次発売されています。



定価 1,195 円
町内還元価格 998 円

ABIRA ミクニカップ

アイスホッケー大会記念講演会

世界の三國・ムッシュミクニンで知られる三國清三氏の講演会が11月28日町民センターで開催され町内外から250名の方が集まりました。

「食についての大切さ」の講演に続いて、子どもにも簡単にできる調理の実演、そしてミクニカレー食事は5周年を迎えるアイスホッケー大会とは違った形で「三國氏の世界」を参加者に与えてくれました。

なお、大会は3月に開催されます。

